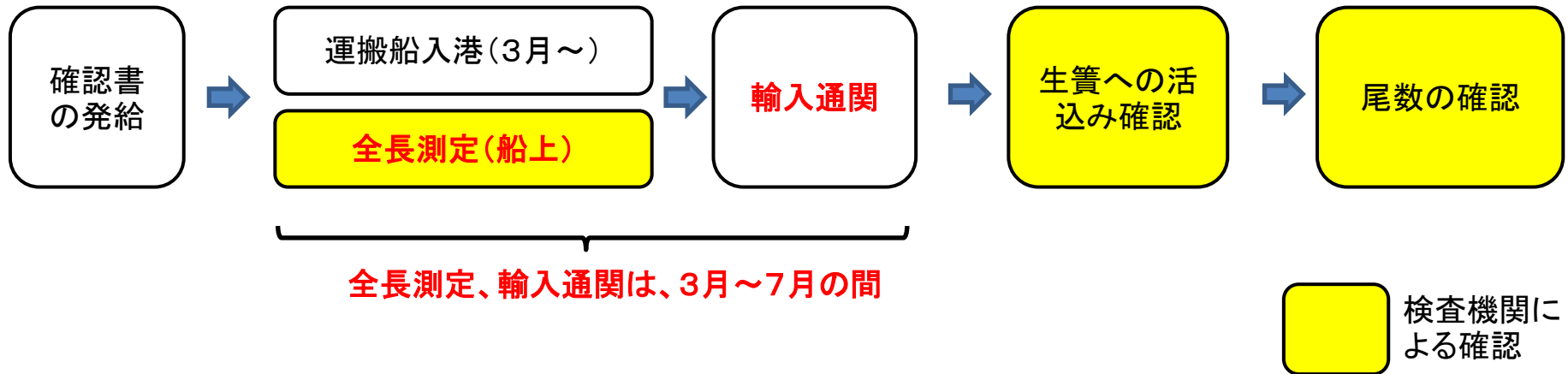
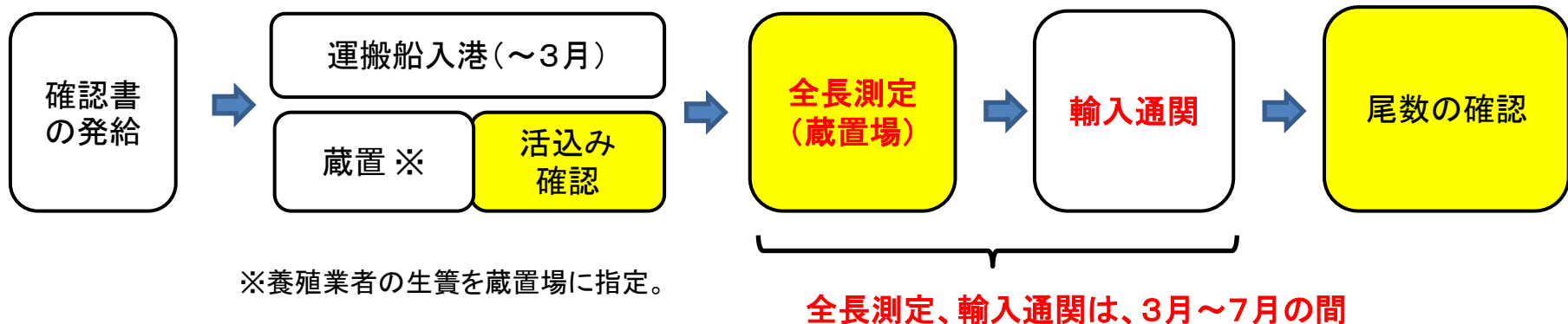


カンパチ稚魚の確認制度 手続の流れ(具体例)

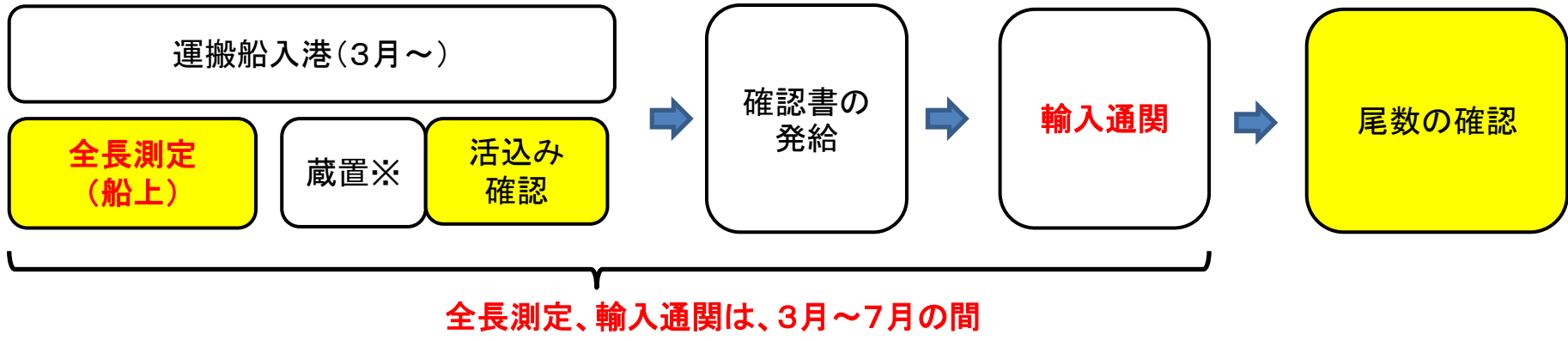
●通常想定されるケース (3月以降に運搬船入港、蔵置なし)



●蔵置のケース1 (3月前に運搬船入港、蔵置)

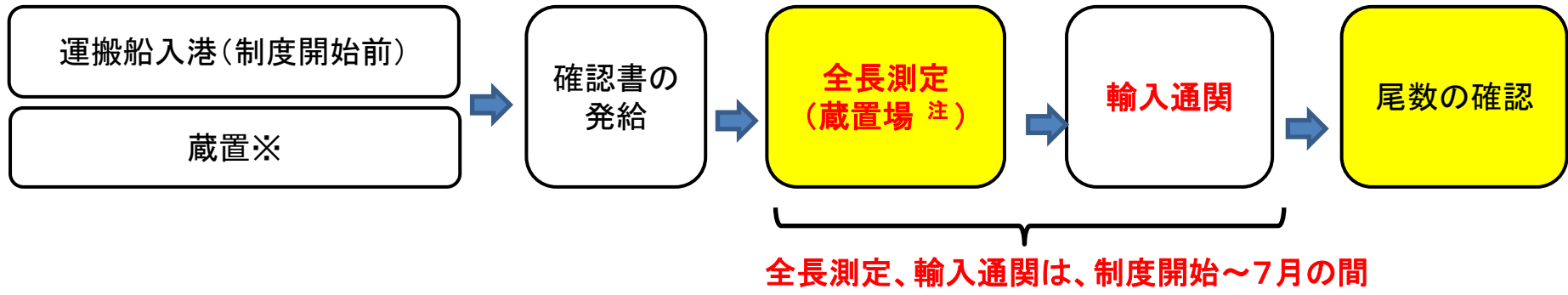


● 蔵置のケース2 (3月以降に運搬船入港、確認書発給まで蔵置)



【今年限り】

● 蔵置のケース3 (今年の制度開始前に蔵置)



※養殖業者の生簀を蔵置場に指定。

(注) 制度の実施前に船上で稚魚の全長を測定した場合、検数協会のポートノート及び稚魚の全長測定に関する報告書を提出すること。